

科目名称	英語学入門				ビジネス・キャリア	()	オフィス情報	()	
英文科目名称	Introduction to English Linguistics				グローバル・コミュニケーション	(○)	医療事務・医療秘書	()	
科目コード	590100	授業形態	演習	単位数	1				
教員氏名	水島 孝司		年次配当	2年次	前期	ホテル・観光	()	大学編入	(○)
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/>		アクティブラーニング		<input checked="" type="radio"/>		無		
授業概要 及び授業方法	本授業の主たる目的は、受講生が言語の普遍性と多様性に気づき、自らのことばの見方・考え方を広げるのを支援することである。授業では、英語が属する語族、英語の歴史、および形態論を取り上げる。小テストは学期中に4回行うが、プリントに掲げる毎授業の「到達目標」から出題する。学期末には、本授業で学んだことのうち最も興味を持った内容を深め、A4判2〜3枚(本文1800文字以上、2000文字以内。これとは別に参考文献を載せる)のレポートを書いてもらう。								
関連する科目	World Languages				卒業認定(学習成果)との関連		①, ②, ③, ④		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、英語学とはどのような学問か、英語が属する語族、英語史(古期英語) 2. 英語史(古期英語) *現代ドイツ語と古期英語を比較する 3. 英語史(中期英語) *ノルマン人の制服、フランス語が英語に与えた影響などを学ぶ 4. 英語史(中期英語〜近代英語) *英語語彙の3層構造、大母音推移などを学ぶ 5. 英語史(近代英語) *Oxford English Dictionaryで語形と意味の変遷を概観する 6. 形態論 *「形態論」とは語の内部構造を研究する学問分野 7. 形態論 *英単語を科学的に分析する練習をする 8. 形態論 *接頭辞、接尾辞の知識を増やす 								
授業時間外の 学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布する参考資料をよく読んで、理解を定着させる。 ・授業で指示された内容のレポートを作成する。 (学修に係る標準時間は週約90分) 								
授 業 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・英語史に関する基礎知識を身につけ、現代英語への理解を深めるとともに、ヨーロッパ諸語および日本語への関心を高める。 ・形態論に関する基礎知識を身につけ、それを生かして英単語を科学的に分析できる。 ・英語史の知見を英語学習に応用し、活用することができる。 								
課題に対する フィードバック	レポートにコメントを書いて返却する。				評価方法・基準		小テスト(40点)、レポート(40点)、参加度(20点)		
テ キ ス ト	プリントを配布する。								
参 考 書	『新 えいご エイゴ 英語学』(稲木昭子ほか著、松柏社、2016年、第3版) 『はじめての英語学』(長谷川瑞穂編著、研究社、2014年、改訂版) 『英語の「なぜ?」に答える はじめての英語史』(堀田隆一著、研究社、2016年) その他、随時、授業で紹介する。								
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・単位取得のためには、小テストの合計点数が20点以上で、かつ分量等の条件を満たしたレポートを期限内に提出しなければならない。これらを満たさない場合、成績は「失格」となり、再試験の受験もできない。 								